

第1回義務教育学校教育課程検討委員会【会議要旨】

1. 開催日時 令和3年6月30日 19時～20時
2. 開催場所 山村開発センター老人研修室
3. 参加者 委員13名 事務局2名
4. 委員長、副委員長選出
委員長 : 山田二郎
副委員長 : 川上敦史
5. 報告
 - (1) 令和2年度第2回義務教育学校教育課程検討委員会議事要旨
 - (2) 教育目標及びめざす子ども像
 - ①教育目標
ふるさとを愛し 心豊かに たくましく羽ばたく 日野の子の育成
 - ②めざす子ども像
 - ふるさと日野町を誇り、地域とつながり、未来を創る子ども
 - 夢や希望、目標に向かって、主体的に学ぶ子ども
 - コミュニケーション力、豊かな人間性を持つ子ども
 - 心も体も健康で、たくましく生きる子ども
 - (3) 日野町教育振興基本計画〔第Ⅲ期〕
6. 協議
 - (1) 校訓について
 - ・日野中の校訓は、日野町の義務教育のめざすところとなっている。
 - ・小学生向けには、かみ砕いて示したらどうか。
 - ・友愛の中に「郷土を愛する」という意味も含められないか。
 - ・校訓を掲げるなら、いろいろな場所に掲示すべき。
 - ・日野中ができたときには、あとに書いてある言葉はなかった。その後の変遷を経て、今の文言となっている。昨年度決めたもの。
 - ・義務教育9年間のゴール地点としてふさわしい。
 - ・コロン以下は解釈、意味づけなので変わってもよい。前の2文字は不変。
 - ・「向学」・・・と「かしこく」・・・を並列して示したらどうか。

◎「向学」「友愛」「誠実」「自主」に決定

(2) 重点目標と具体的方策、努力点について

- ・本来は校長が示すものであり、本委員会で先んじて決めるのはいかがか。
- ・校長が、学校運営協議会で示す。学校運営協議会で議論するというのはどうか。
- ・学校運営協議会で諮るのがよい。
- ・どんな学校をめざすか、熟議をとおしてプランニング→校長が原案作成
→学校運営協議会で議論

◎今後、学校運営協議会で検討する。

7. その他

(1) 検討委員会開催予定

- ・学年の区切りについて情報は集めるべき
- ・想定されるメリット、デメリットがあると議論しやすい
- ・区分けをすることで何が変わるのかという視点

◎次回までに情報を集めて、次回提示する。